

旧石器時代から始まる、中世までの島内の歴史と文化。

普段何気なく歩く道も、歴史を知ると全く違う景色が見えてきます。今は何もない場所にも、息吹を感じます。
連綿と紡がれてきた年月があればこそその今であることに気付かされることでしょう。

揭載項目

縄文時代	大峯縄文前期遺跡 稻干原出土の尖頭器
古代・黎明期	老根田縄文中期・後期遺跡 稻干原野岸縄文遺跡
古代・遺跡	八幡原遺跡 遺跡地名及び遺物等
古代・古墳	高松木郷・本村 南方 上平瀬 下平瀬・山田 北中遺跡 北方遺跡 上平瀬遺跡 南中遺跡 平瀬遺跡
古代・古墳群	圃場整備前の発掘調査 泣坂(坂下)古墳群 高松本村古墳跡 老根田山頂古墳 高松積石遺構 平瀬権現堂墳墓
古代・古窯跡	古代・古窯跡 古代・川堰 自然流路の島堰 自然流路の榎木川堰 開発された島堰 幹線堰から分岐した堰

道	養老坂	養老坂への道
下田の川手口	留番所	平瀬川西本郷
旧糸魚川街道		
長尾道		
水室道		
岩岡道		
千国道		
仁科道		
野麦道支道		
糸魚川街道		
中田道		
川手街道		
国道19号		
学北・学南道		
寺堂	法住寺 高松寺 松隱(陰)寺 龍雲寺 開善寺(普光院)	
大日堂	八躰殿 阿弥陀堂	
觀音堂	阿弥陀堂	
阿弥陀堂		
藥師堂		
伝龍寺		
阿弥陀堂		
權現堂		
権現堂と九頭竜権現社		
上の寺・専養寺		

本書は、島内公民館報に「島内の歴史と文化財」と題し、昭和52年から平成12年にかけ計133回にわたり連載された記事を元に再編集したものです。地元在住の郷土史家大久保知巳氏による、長年の研究成果が一言一言の裏付けとなつて紡がれております。

刊行にあたり、掲載時書き足りなかつた項、その後の研究成果により新たなる事実となつたこと等をふまえ、修正、加筆、追記をいただき、新たに図版や写真を関連する箇所に掲載しました。